

ONE23

東京 23 区が見える。わかる。季刊誌「ワンツースリー」

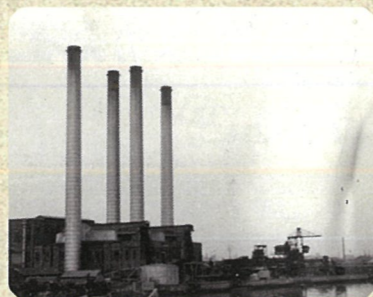
2014
WINTER
Vol.15

東京 23 区 1960 年代なつかしの風景

- 「歩く」北区 王子駅周辺散策コース
- 「知る」『所蔵資料』蔵出し番外編 -『東京五拾区縮図』でたどる赤穂浪士引き揚げの道その3-
- 「学ぶ」OU 講座紹介、台東区文化施設魅力紹介展示
- 「食べる」ショウガでポカポカ元気!
- 「触れる」渋谷区、中央区、練馬区の見学・体験施設紹介

1960年代[※]の 東京23区 なつかしの風景を ご紹介!

※昭和35～44年



足立区：お化け煙突

千住火力発電所の4本の煙突。見る方向により本数が違って見えたため、お化け煙突と呼ばれ親しまれました。



荒川区：都電「汨橋停留場」と東京スタジアム

汨橋停留場に停車する浅草・日本橋方面行きの都電。奥には、東京スタジアムが見えます。



板橋区：都電板橋区役所前停留所の光景
(1965年)

東京オリンピックを契機に都電から地下鉄に交通の主役が変わり、街並みも一変しました。



江戸川区：区役所庁舎前を飾った「五輪花壇」

東京オリンピックの開催に合わせ、区役所前の花壇も五輪マークで彩られました。



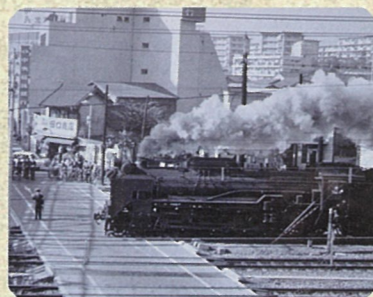
大田区：大森駅東口駅の様子

1965年の大森駅東口。対面式の切符売り場や並んでいるタクシーに時代を感じます。



葛飾区：立石駅前商店街

1962年、立石駅前の商店街アーケード。今でも当時の名残を垣間見ることができます。



北区：蒸気機関車 D51
(赤羽駅北の踏切)

赤羽駅北の踏切を通過する蒸気機関車D51。写真と同型車を飛鳥山公園で展示しています。



江東区：地下鉄東西線の建設
(永代橋そば・1965年)

1964年に高田馬場～九段下間が開通した東西線は、1967年3月に隅田川を越えて東陽町まで延伸しました。



品川区：大崎駅

1965年の大崎駅です。周辺は副都心と位置付けられ、大規模開発が進んだ現在は洗練された町並みに変化しました。



渋谷区：ハチ公前広場

当時の広場には噴水があり、ハチ公像は北向きに設置されていました(現在は東向き)。



新宿区：1966年 新宿駅西口 建築中の立体広場
(所蔵：新宿歴史博物館)

当時京王百貨店は開店していましたが、小田急百貨店は建設中でした。現在は商業施設が軒を連ねます。



杉並区：都電杉並線廃止記念電車
(1963年)

交通網の整備で1962年に営団地下鉄丸ノ内線が開通するまで、都電杉並線は区民に親しまれてきました。



墨田区：都電錦糸掘車庫前

都電は区民の足としてなくてはならないものでした。写真は現在の錦糸町駅南口付近です。



世田谷区：三軒茶屋交差点
(1961年)

商店街、映画館、飲み屋など多くの店が軒を連ね、世田谷一の賑わいを見せる三軒茶屋です。



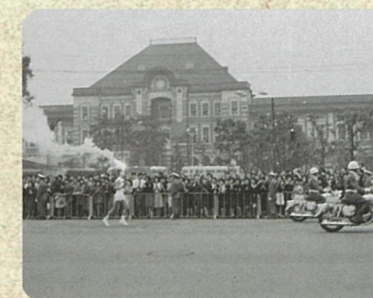
台東区：浅草仲見世の様子
(1964年)

東京オリンピック大会を歓迎して五輪旗をとりつけた浅草仲見世の様子です。



中央区：東京国際見本市会場

1959年から37年間親しまれた“晴海見本市”。次の東京五輪では、跡地に選手村が建設されます。



千代田区：東京駅

1964年に開催された東京オリンピックでは、東京駅前を聖火ランナーが通過しました。



豊島区：池袋西口マーケットの取り壊し
(豊島新聞社提供)

1961年から池袋西口のヤミ市も取り壊され、今は東京芸術劇場を中心とする文化の街になっています。



中野区：中野駅北口美観商店街

現在のサンモール商店街です。この頃から内装も華やかになっていきました。



練馬区：東京オリンピックの聖火リレー

バスの操車場(現在の関町南三丁目付近)を利用して行われた聖火の引継ぎの光景です。



文京区：東京オリンピック聖火リレー
(水道橋交差点付近)

白山通りと今はなき後楽園卓球センターを背に、中継所で聖火を持つランナーたちが並んでいます。



港区：「神宮外苑イチョウ並木」付近
(1964年10月10日 港区北青山)

国立競技場まで約1kmの聖火ランナーです。50年前のイチョウは今よりだいぶ小さいですね。



目黒区：聖火リレー 練習風景

1964年、第七中学校校庭での東京オリンピック聖火リレー練習風景の一場面です。

※掲載区は五十音順です。

歩く

博物館や史跡・庭園をめぐり、歴史を感じ、知識を身につけながらの散策はいかがでしょう。ゆっくり、じっくり楽しめる散策コースをご紹介します。

北区 王子駅周辺



(撮影時期：秋)

① 紙の博物館

明治8年王子村に渋沢栄一の提唱する抄紙会社が開業し、日本の製紙産業の先駆的な役割を果たしました。紙の博物館は、昭和25年に戦災を免れた旧王子製紙王子工場の建物を使い、開館したのがはじまりです。紙に関する資料は50,000点以上に及びます。

※お問い合わせ：03-3916-2320

「紙の博物館」「北区飛鳥山博物館」「渋沢史料館」の三館共通券(一般720円、小・中・高校生240円)は、各館で購入できます。



..... 散策コース



(撮影時期：秋)

② 北区飛鳥山博物館

北区の歴史を体感できる博物館です。常設展示は地域の自然や歴史について、14のテーマで構成されています。実物資料のほか、豊島郡衛正倉の実物大の復元模型など臨場感あるつくりとなっています。

※お問い合わせ：03-3916-1133



(撮影時期：秋)

③ 渋沢史料館

日本の近代経済社会の基礎を築いた渋沢栄一の91年に及ぶ生涯と、携わった様々な事業や、多くの人々との交流を示す諸資料を、時代背景の解説とともに展示しています。

※お問い合わせ：03-3910-0005



④ 西ヶ原一里塚

大正のはじめ、市電の延長のため塚が撤去されそうになったとき、渋沢栄一らが保存を要請し、塚をさけて軌道がつけられました。その時の記録が、「二本榎保存之碑」に刻まれています。国指定史跡。

ちょっと寄り道しませんか

旧古河庭園

本庭園は、もと明治の元勲・陸奥宗光の邸宅でしたが、宗光の次男が古河市兵衛の養子となったことから、古河家の所有になりました。英国ルネサンス風の洋館と洋風庭園は、大正初期の庭園の原型をとどめる貴重な存在であり、京都の庭師・植治の手がけた日本庭園との美しい調和を生み出しています。



開館時間：9:00～17:00まで(入園は16:30まで) 休館日：年末年始(12月29日～1月1日)
入館料：150円(65歳以上は70円。小学生と都内在住・在学の中学生は無料)
電話番号：03-3910-0394 所在地：北区西ヶ原1-27-39

冬散歩を楽しむポイント!(注意点)

出発する前にウォーミングアップをしましょう。体操で体をストレッチングすることにより血液循環を良くし、筋肉や関節の動きを滑らかにします。気温が低い時期は10分～15分程度、ゆっくりと時間をかけることをお勧めします。

汗をかいて、そのまま休憩をすると体が予想以上に冷えてしまう場合があるので、タオルや着替えのTシャツなどを持っていくようにしてください。

冬も安全で健康的な散歩を楽しみましょう!

知る

23区をもっと知ってもらいたい。

特別区自治情報・交流センターでは、統計データ、書籍をそろえて、皆さんのお越しをお待ちしています。

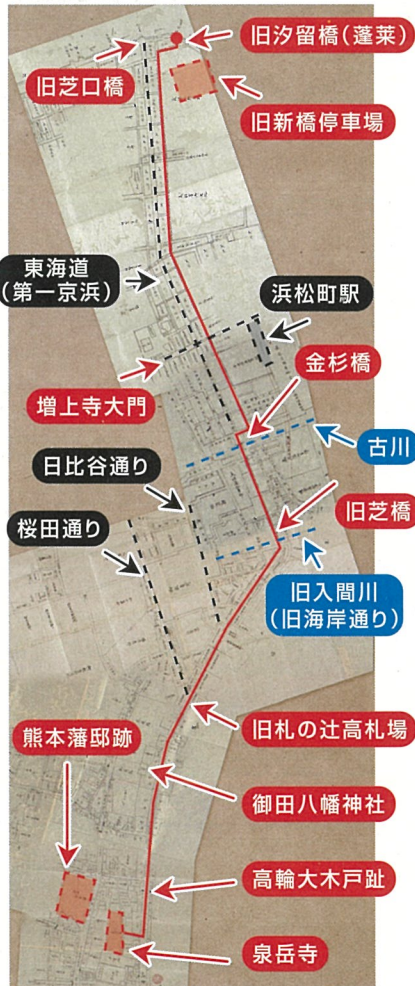
『所蔵資料』蔵出し 番外編

-『東京五拾区縮図』でたどる赤穂浪士引き揚げの道 その3-

『東京五拾区縮図』に描かれている区域は、旧町奉行所が管轄していたものです。東は大横川、西は新宿御苑手前、南は八ッ山橋、北が本駒込辺り。町地のみならず、名称入りで藩邸や神社仏閣も数多く描か

れており、赤穂浪士が引き揚げた道も入っています。今回は引き揚げの道の最終回。旧汐留橋から泉岳寺までを『東京五拾区縮図』とともにたどってみます。

赤穂浪士引き揚げの道 (旧汐留橋～泉岳寺)



■ 十四番組 芝口(三丁)その他

旧汐留橋の架かる水路が『十一番組』と『十四番組』の境。現在「首都高速都心環状線」が通っています。旧汐留橋からは東海道(第一京浜)の海寄りの道を『十五番組』に流れる古川まで進みました。この道は東海道側に町屋、海側に大名屋敷があり、赤穂浪士一行は当時あった仙台藩邸と会津藩邸の門番から誰何を受けたと言われています。



●明治期、汐留橋の新橋側は新橋四丁目目比谷橋停車場で、現在プラットフォームや駅舎が再現されています。
●新橋四丁目目比谷通りに立つ「浅野内匠頭終焉之地」石碑

■ 十五番組 芝浜松町(三丁)その他

増上寺大門へ通じる道から『十五番組』に入ります。一行は古川まで直進し、つきあたりで東海道に出て金杉橋を渡ったと思われます。当時、金杉橋辺りは海を臨み、遠く築地辺りまで見え、歌川広重の「江戸名所百景」にも描かれています。



●金杉橋から見た、釣り船・屋形船が浮かぶ現在の古川の「金杉橋芝浦」

■ 十六番組 本芝(四丁)その他

一行は東海道を進み、旧入間川に架かる旧芝橋(現在の芝四丁目交差点)を渡ります。旧芝橋から『十六番組』になり、この付近は当時「雑魚場」と呼ばれ、魚市場があり、落語「芝浜」の舞台にもなりました。



●札の辻交差点から見た桜田通り。写真右側辺りに高札場があったと思われます。
●御田八幡神社 この付近で、仇討ち強硬派から脱退した高田郡兵衛が祝い酒を持って出迎えますが、一行は無視したという逸話があります。

旧札の辻高札場から『十七番組』に入ります。札の辻交差点で東海道と合流する桜田通りは近世以前からある古道で、徳川家康の江戸入りもこの道を通ったと言われています。



●海側の石垣だけが残る「史跡高輪大木戸趾」。石碑の裏には「昭和7年3月建設東京市」とあり、市制時代のものと妙に感じました。
●泉岳寺山門 境内には浅野内匠頭や赤穂浪士の墓の他、浪士ゆかりの品を所蔵している「赤穂義士記念館」があり、12月14日には「義士祭」が開かれます。
●熊本藩邸跡にある「赤穂義士史蹟碑」。熊本藩に預けられた大石良雄他16名はここで切腹しました。

■ 十八番組 芝車町その他

高輪大木戸趾から『十八番組』。引き揚げの道のゴール、泉岳寺は東海道から少し西に入ったところにあります。一行は、本所松坂町吉良邸で2～3時間の格闘後、泉岳寺まで約12Kmの道のりを約2時間で歩いたそうです。

平成25年11月2日(土)、前回、前々回と同じく『東京五拾区縮図』(複製)と現在の地図を持って、旧汐留橋から泉岳寺・熊本藩邸跡まで歩きました。今回のルート(すべて港区)は、出発した旧汐留橋付近以外、当時の引き揚げの道をたどることができます。当日は小雨が降ったり止んだりの天気でしたが、泉岳寺には20～30人の参詣者がいて、赤穂浪士の人気を物語っていました。

(公財)特別区協議会には『東京五拾区縮図』以外にも、所蔵する地図や資料がたくさんあります。今後も地図や資料で東京23区を紹介していきたいと思います。

学ぶ

あなたの「学びたい」気持ちにお応えする
東京区政会館の学べるスポットをご紹介します。

首都大学東京講座

東京区政会館3階では、どなたでも学べる「首都大学東京オープンユニバーシティ（OU）」を開講しています。様々な講座から、特別区協議会との共同講座を紹介します。

特別区協議会との共同講座 申込み方法をご覧ください。

渋谷の“むかし”を訪ねる

日時	2月20日(木)14:00～15:30 2月27日(木)14:00～15:30
講師	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員 田原 光泰
受講料	4,900円(全2回)

よく知られている渋谷は、“いま”の街ですが、実際に街を歩くと、古墳や中世の城館跡といった史跡など、いたるところに“むかし”がたたずんでいることがわかります。本講座では、大都市渋谷が形成されるまでの歴史を、講義とフィールドワークでたどります。

※2月27日の集合場所は渋谷駅。

●申込み方法

原則、各講座開講の2週間前までにお申込みください。定員に達し次第、締め切ります。オープンユニバーシティは会員制です。入会金3千円を最初の受講料と一緒ににお支払ください。お申込み後、銀行振込・払込票・クレジット（WEB申込みの場合のみ可）のいずれかで受講料をお支払いいただいた後、「受講のご案内」をお送りします。

申込み先

首都大学東京オープンユニバーシティ窓口
電話：042-677-2362（平日9時～19時）
WEB：<http://www.ou.tmu.ac.jp/>

台東区文化施設魅力紹介展示

来て、見て、触れて、たしかめよう！ いろいろまなべる台東区立下町風俗資料館

台東区立下町風俗資料館は、台東区を中心とした下町地域の人々の暮らしや文化、伝統を永く後世に伝えるために、昭和55年10月に上野公園不忍池畔に開館しました。オープン当初から「手で触れられる」展示をしています。今回の展示では、当館のご案内と古き良き上野・浅草界隈をご紹介しますとともに、台東区内の文化施設も併せてご紹介します。



下町風俗資料館内 長屋の路地と駄菓子屋

展示スケジュール

＜開催日＞平成26年1月8日(水)～1月30日(木)(日曜・祝日を除く) ＜展示時間＞平日9:00～20:30 土曜日9:00～17:00
＜会場＞東京区政会館 1階エントランスホール（千代田区飯田橋3-5-1）

今回の展示は、中央区の文化施設「中央区立郷土天文館」の魅力を紹介し、2月上旬の開催を予定しています。

食べる

体を温める注目食材「ショウガ」の歴史や効能などを楽しく紹介します。今年の冬はポカポカ元気でいきましょう！



ショウガのアレコレ



ショウガは昔から体に良い人気食材！

ここ数年、冬になるとショウガを使った食品を口にすることが多くなりました。風味や刺激的な辛みはもちろんのこと、体を温めてくれる薬効に注目が集まり人気が高まったことが要因だと思います。

さて、日本でショウガがどれくらい前から食べられていたかといえば、卑弥呼がいた時代にはもう食べられていたという説があります。江戸時代には、ショウガにはまった11代将軍家齊が専用の農地を作り、ショウガだけを栽培させて毎日欠かさず食べていたと伝えられています。

現代では、焼きそばに紅ショウガ、お寿司にガリ、冷奴やそうめんの薬味にと日本の食文化に欠かせない名脇役的な存在で親しまれていますが、最近の活躍は

まさに主役級です。今年の冬もショウガを使った料理や商品が続々と誕生してくるか、ショウガののど飴を頼張りながら楽しみにしている人も多いことでしょう。



ショウガの効能

ショウガを食べてポカポカ元気！

ショウガの辛味成分、ジンゲロール・ショウガオール・ジンゲロンには、体を温める効果や抗酸化作用、新陳代謝を活発にし、発汗作用を高める働きがあるといわれています。ショウガオールとジンゲロンは生の状態では存在せず、加熱や乾燥させることで発生し、ショウガの効能を高めるそうです。



生と乾燥の使い分け

生ショウガに含まれるジンゲロールは強い殺菌力をもっているのですが、刺身の臭みを消すだけではなく食中毒の予防にもなります。乾燥ショウガにはショウガオールが含まれており、胃腸に直接作用して血流を高め、体を温めるといわれています。

生と乾燥の使い分けでより健康になりましょう。



触れる

東京 23 区には様々な、見学・体験ができる施設やお店が沢山あります。

技法、技術など興味深い体験講習をご紹介します。

NHKスタジオパーク

渋谷区／見学・体験



ここでしか見ることができない高精細のスーパーハイビジョン(8K)映像や、タッチパネルで歴代の大河ドラマと連続テレビ小説などが見られる映像ライブラリー、子どもの好奇心をくすぐる仕掛けに溢れた展示やイベントがいっぱい。公開生放送もガラス越しに見ることができ、多彩な“放送”を楽しく学べる体験型のテーマパークです。

住 所：渋谷区神南 2-2-1
開館時間：10：00～18：00（入場は17：30まで）
休館日：毎月第3月曜日 ※来年4月以降変更の場合あり
入場料：18歳以上65歳未満 200円/高校生以下・18歳未満・65歳以上 無料
T E L：03-3485-8034（受付10：00～18：00）
H P：http://www.nhk.or.jp/studiopark/
アクセス：JR山手線・東急東横線渋谷駅より徒歩12分ほか

体験

スタジオパーク内にある体験コーナーでは、放送にかかわる様々な職業を実際に体験することができます。①アニメファクトリーでは、NHK人気アニメの声優アフレコ体験 ②クリエイティブラボでは、映像や音声の編集体験 ③スタジオパークNEWSでは、模擬報道スタジオでニュースキャスターやリポーター、カメラマンなどのニュース制作体験ができます。

料金：無料/所要時間：①約5分 ②30分 ③20分/予約方法：当日予約カウンターにて先着順

※予約方法に変更が生じることがあります。詳細は「NHKスタジオパーク」HPにてご確認ください。

日本銀行本店

中央区／見学



日本銀行は、物価の安定と金融システムの安定を目的とする、日本の中央銀行です。

現在、日本銀行本店は、本館・新館・分館(貨幣博物館)の3つの建物から構成されています。本館は日本銀行の建物の中でもっとも古く、明治29年に完成しました。明治中期の西洋式建築物としては、東京・赤坂の迎賓館とならぶ傑作といわれています。

住 所：中央区日本橋本町 2-1-1
T E L：03-3277-2815（情報サービス局見学受付）
H P：http://www.boj.or.jp
予約方法：電話予約 ※見学希望日3ヶ月前の同日から1週間前まで先着順にて受付
アクセス：東京メトロ半蔵門線三越前駅より徒歩1分ほか

体験 一般見学

(写真提供：日本銀行)

国の重要文化財に指定されている本店本館(旧地下金庫エリア、旧営業場、史料展示室)および新館(1階営業場)などをご覧になれます。

料金：無料/所要時間：約1時間/対象：小学校5年生以上(ただし小学生は保護者の同伴が必要)

見学：毎週月～金曜日(祝日・年末年始除く)(9：45～)(11：00～)(13：30～)(15：00～)

※一般見学のほか、日本銀行の仕事や建物、貨幣の歴史などをテーマにしたレクチャー付見学なども定期的に開催しています。詳細は「日本銀行」HPにてご確認ください。

練馬区立石神井公園ふるさと文化館

練馬区／見学・体験



練馬区の歴史や伝統文化、自然などについて、体験しながら楽しく学ぶことができ、観光情報も発信する新しい博物館です。ふ(ふれあい)る(ルーツを知る)さ(さわられる)と(とりかえられる)をテーマにした展示で、資料や模型などに触れたり、体験できるコーナーも用意されています。

住 所：練馬区石神井町 5-12-16
開館時間：9：00～18：00 休館日：月曜・年末年始
T E L：03-3996-4060
H P：http://www.city.nerima.tokyo.jp/manabu/bunka/furusato/
アクセス：西武池袋線石神井公園駅より徒歩15分ほか

見学・体験

(写真提供：石神井公園ふるさと文化館)

館内の体験コーナーのほか、毎週土曜日に子ども向けの体験プログラム「ふれあい土曜事業」を行っています。火おこし体験や昔話の読み聞かせ、隣接する池淵史跡公園内の古民家探検などを体験することができます。

※内容は月によって変わります。

見学・体験をするにあたってのお願い

- 事前予約が必要な場合は、必ず予約をお願いします。
- 無断や直前のキャンセルは、ご遠慮ください。
- 安全に留意し、マナーを守ってご利用ください。
- 動きやすい恰好でご参加ください。
- 掲載内容に変更がある場合があります。詳しくは各施設へお問い合わせください。

特別区自治情報・交流センター

http://www.research.tokyo-23city.or.jp

〒102-0072
千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階
電話/03-5210-9051
交通/東京メトロ東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分



「ONE23(ワン・ツー・スリー)」(冬 vol.15)
2014年1月1日発行
発行/(公財)特別区協議会 事業部
企画編集・デザイン/株式会社アートプレスト・株式会社YDS
印刷/シンソー印刷株式会社